

施政方針

令和8年第2回市議会定例会が2月2日から27日まで開かれ、馬場市長が市政運営に対する所信を述べました。
今号では、7つの政策テーマに沿ってその概要をお知らせします。

今年、天草市の誕生から20年、天草五橋の開通から60年、そして、雲仙国立公園への天草地域の編入から70年と、3つの節目を迎える年となります。天草発展の契機となる偉業に想いをはせ、たとえ縮小社会と呼ばれる時代であろうとも、決してあきらめることなく後世へとバトンをつなぐよう、天草版地方創生への挑戦を、その決意を新たにしています。

地方創生は約束されたものではなく、それぞれの自治体の挑戦によって実現を目指すものであり、国も、チャレンジする地方を強く支援しようとしています。このため私は、今年の一字を「挑」としました。今議会に議案として提出した「第3次天草市総合計画後期基本計画(案)」に掲げる「天草版地方創生」は、

まさに、予測不能な時代で新たな局面を迎える、私たちの次なる自治への挑戦です。人口減少が加速する中、多様な主体が手を取り合い、あらためて地域の賑わい創出に挑戦する。それは、地域内外の人々の手による、天草ならではの美しい景観や文化の継承と発信、固有の資源を生かした地場産業の振興やなりわいの創出、域内消費の促進と域外需要の積極的な取り込みによる地域経済の活性化、そして、地域や産業を次代へとつなぐ人材育成の取り組みであります。

併せて、デジタル技術の活用や官民連携の取り組みにより、人口が減ろうとも暮らしの機能を維持と充実が図られ、のどかでありながらも利便性高く、年を重ねても安心して暮らすことができ、若者

や子育て世代からも選ばれる新しい地方となる。そのような賑わいと暮らしをどれだけ創出することができるか。その挑戦こそが、「天草版地方創生」の取り組みです。
さまざまな挑戦があること自体がその地に活気を生み出し、住民の熱に、距離というハードルを超えて人々が集まるはず。先人たちのごとき、現代社会における課題に果敢に挑戦し、試行錯誤を繰り返しながらさまざまな施策に取り組み、持続可能で希望あふれるまちを、地域とともに共創していく。令和8年度は、その第一歩目の年となります。分野横断的な取り組みにより後期基本計画に掲げた31の政策を推進し、本市ならではの地方創生を目指して歩みを進めてまいります。

テーマ01/ 地域の魅力で彩る まちづくり

地域活動の推進

国の制度を活用したモデル事業として、住民とともに地域活動に取り組む「集落支援員」を4支所に配置。各地域の現状や課題の把握、解決のための話し合いや具体的取り組みの促進を図り、より良いまちづくりに向けた地域活動を推進します。



拠点整備

南の玄関口である牛深港の周辺整備事業では、水産業・牛深港を核とする海業の取

り組みを加速するため、旧牛深港業協同組合の施設解体に着手します。さらに、漁業体験などソフト事業の実証実験や、未利用魚を活用した商品開発などに取り組みます。



多文化共生の推進

市内で増加している外国人居住者とのより良い共生を推進するため、外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及や、日本語教室を通じて日本の習慣や文化の理解を進め、日本人・外国人双方の不安の解消と交流の促進に努めます。

移動の利便性向上



高齢化の進展や免許返納者の増加に伴い、地域の移動ニーズに応じた交通ネットワークの形成と利便性の向上がますます求められています。令和8年度は、現在、地域との協議や移動実態調査を実施している牛深と倉岳地域において、住民の意見や調査結果を踏まえ、A1オンデマンド乗合タクシーなどの導入を進めます。

また、五和・天草・河浦地域における既存の交通輸送サービスの見直しや地域における協議に着手し、引き続き、市民の皆さんが住み慣れた地域で安心して移動でき、来訪者の島内周遊も促進する利便性の高い公共交通網の構築に取り組みます。

テーマ02/ 交流を通じて賑わいを創出するまちづくり

観光政策

美しい自然景観、独自の歴史や文化、豊かな食などの地域資源を生かし、交流により魅力伝える「天草スタイル」の観光の確立に向け、多言語化や通信環境の改善、キャッシュレス決済の導入など、観光スタイルの変化やインバウンドへの対応に資する民間の取り組みを支援します。

また、来訪者の滞在時間の延長による地域経済への波及効果を高めるため、関係自治体などと連携し、九州初のナショナルサイクルート指定に向けた取り組みを進めます。



文化財の保全と活用

天草地域を代表する文化財の一つである国指定重要文化財「祇園橋」は、桁石の一部が折損したため、令和元年から通行止め措置を実施しています。加えて、令和7年8月の豪雨による被害も受けているため、石造記念碑を含めた祇園橋の文化財修理を進めます。人道橋として祭りの神幸行列に利用するなど、市民の皆さんに親しまれる本来の姿を取り戻し、地域活性化につなげるとともに、歴史的価値を後世へ継承していきます。

さらに、倉岳支所などの複合施設となる「天草戦国ミュージアム」は、本年11月の開館を目指し、鋭意整備を進めています。国指定史跡「棚底城跡」を中心に、天草諸島の戦国時代をテーマに「見て、感じて、楽しみながら歴史を感じる交流拠点施設」として、地域活性化の核、そして本市



豪雨災害により被災した道路など公共土木施設の復旧工事を遅滞なく進め、市民の皆さんの安全な生活環境を整備します。さらに、河川については、緊急浚渫推進事業債を活用した堆積土砂の取り除きを推進し、治水能力の向上を図り、河川氾濫に対する市民の皆さんの不安を軽減することができるよう取り組みます。

令和7年8月

豪雨災害

テーマ04/ 災害に強く 環境にやさしいまちづくり

スポーツ交流

スポーツコミッションの誘致活動により、あましんスタジアムで、本年7月に4年連続となる「第75回九州地区大学体育大会陸上競技」が開催されます。さらに、本市におけるこの大会の運営実績が評価され、5月に全国大会予選となる「第96回九州学生陸上競技対校選手権大会」の開催



へのゲートウェイの役割を担い、東部地域への誘客と天草全域への周遊を促進することができるよう、道の駅登録も視野に、着実な事業の推進を図ります。

も決定しました。熊本陸上競技協会や天草市陸上競技協会など関係機関と連携し、大会の成功に向け万全の準備を進めるとともに、これらをきっかけに、ますます多くの合宿や大会を誘致することができるよう尽力します。

関係人口・移住定住

二地域居住を含む関係人口の創出・拡大と関係の深化を図るため、引き続き、ふるさと住民の登録を促進するとともに、地域活動等の情報を提供し、ふるさと住民が本市の地域活動などに参画できるように取り組みます。

また、移住定住の推進では、子育て世帯や若年層の移住の増加、周辺地域への移住促進を図ることができるよう取り組みを進めます。



防災力向上

ハザードマップを活用した市民の皆さんの自主的避難による早期の安全確保や、家庭内での非常時備蓄など防災意識を高めるための啓発活動と併せ、共助のための自主防災組織の育成・支援を継続して進め、地域防災力の向上を目指します。

道路整備

天草未来大橋に接続する周辺道路の拡幅により交通環境の向上を図るとともに、市道路面の舗装や橋・トンネルの補修など、老朽化施設の更新を計画的に進め、利用者の安全性と利便性の向上を図ります。

空き家対策

適切な管理がなされず危険家屋化する恐れのある建物所有者へ必要な措置を講じると

テーマ03/ ともにつくる 健康と福祉のまちづくり

福祉体制



社会福祉法に基づく「重層的支援体制」の整備に取り組み、高齢・障がい・子育てなどの分野にとらわれない「みんなまるごと相談支援」の体制づくりを進めています。この取り組みにより、相談者の困りごとをしっかりと受け止め、社会福祉協議会をはじめ、地域包括支援センター、相談支援事業者、民生委員・児童委員と行政などが連携したチーム支援へとつなぎます。併せて、必要な情報や支援が届

ともに、老朽危険家屋の解体費助成制度を継続し、自発的解体を奨励します。



市営住宅

住宅性能と居住性能の向上に取り組み、併せて、用途廃止予定の住宅に入居中の人への移転支援を継続し、維持管理費削減と住環境改善に取り組みます。

水道・下水道事業

料金収入の減少や維持管理費の増加により、経営状況が厳しさを増しています。本年4月に料金改定を実施して財源の確保を図るとともに、より効率的な事業経営に努めながら施設の計画的な更新と耐震化を進め、生活に欠かせずこのできない水の安定的な供給と、適正な下水処理

いていない市民に対し、支援機関側から積極的に働きかけを行うアウトリーチを進め、孤立の解消などを図るとともに、近年の複雑化・複合化した生活課題に対する包括的かつ継続的な伴走支援に取り組みます。

高齢福祉政策



介護サービス事業所における業務のデジタル化を支援し、業務負担の軽減やサービスの質の向上を図り、働く環境の改善による介護人材の確保

を持続可能なものとするよう、両事業の健全経営に取り組みます。

環境政策

2050年カーボンニュートラル達成に向けた各種の取り組みと併せて、野生のイルカと人が共存する美しい海を後世に引き継ぐため、体験学習を通じた環境教育などに取り組みます。

また、ごみ分別の意識啓発を継続するとともに、資源物でありながら可燃ごみに多く含まれている紙の資源化を促進するため、市内全域で紙の

保を推進します。併せて、高齢者の介護予防のため、低下した生活能力を自らの力で取り戻し、自立した在宅生活を継続できるよう支援する「リエイブルメント（再びできるようになる）」に取り組み、元気な高齢者を増やす活動を進めます。

健康増進

一人ひとりが自らの生活を振り返り、より良い食生活や運動習慣の定着化を図ることができるよう健康教育などに取り組むほか、健康づくりの住民ボランティアを養成し、企業や関係機関、地域とも連携した健康づくりの輪を広げます。



回収拠点を増設します。併せて、事業系ごみの現状分析を踏まえた事業所への指導を強化し、ごみの減量化資源化を促進します。

情報政策

光インターネットの未整備地域や携帯電話不感エリアの解消に向け、衛星通信など新技術を活用した実証実験に取り組みます。また、スマートフォン利用に不安を持つ市民に向けた講習会を開催し、誰もがデジタル社会に参加できる環境を整えます。

テーマ05/ つながり広がる 豊かな産業のまちづくり

農業

豪雨被害を受けた農家の早期営農再開に向け、農家の皆さんに寄り添った支援に注力します。また、国の重点支援地方交付金を活用し、物価高騰や高温対策に必要な施策を進め、農業者の経営基盤の強

化を図ります。このほか、土地利型の高収益作物である薬用植物の栽培普及の可能性を探るため、本市に適した薬用植物を選定する試験栽培に取り組みます。さらに、イノシンなど有害鳥獣対策として、捕獲隊員の埋設作業の負担軽減を図るた

め、上島地区における有害鳥獣処理施設への受け入れ拠点整備を進めます。

林業

地域おこし協力隊制度を活用して、担い手の確保・育成対策を進めます。併せて、地域の関係機関などと連携した「地域商社」の設立により、本市に数多く生育する広葉樹を活用した林業の6次産業化を推進し、経営の安定化と森林の有する公益的かつ多面的機能の維持・増進を図ります。



水産業

種苗放流や藻場造成、ブルーカーボンクレジットの認証取得等、水産資源の回復と

漁業者の新たな収入源の創出に向けた取り組みを進めます。また、赤潮被害の低減対策や、統廃合も含めた効率的・効果的な漁港施設の整備、放置船対策など適切な漁港管理に努め、豊かな里海の再生と漁村の活性化に取り組みます。

商工業

商工団体や地元金融機関など、関係機関と連携した起業創業や事業者の経営改善、事業承継に係る相談窓口を継続し、伴走型の企業支援による地場企業の課題解決に取り組みます。

地域経済活性化

国の重点支援地方交付金を活用した、市内の店舗で利用可能な商品券の発行により、物価高で厳しい状況にある市民の暮らしを支えようと、商工事業者が行う「プレミアム付き天草のさりーチャージ券」の発行を支援することで、積極的に市内の消費を喚起し、地域経済の活性化を図ります。

ブランド推進

農林水産物等の高付加価値化や、市内外へのプロモーションの強化により天草産品のブランド化を推進するため、地域活性化起業者や地域おこし協力隊、さらにふるさと納税制度を活用し、生産者等が取り組む商品開発や加工技術の向上、施設整備などへの支援を強化します。また、天草産品の積極的かつ効果的な情報発信を行い、より多くの商談機会を創出して販路拡大を目指します。



人材の確保・育成

若年層の地元就職促進やUターン者の確保を図るた

め、天草未来創造スクールなど経営者の人材育成事業を進めるとともに、進出企業と地元企業とのマッチングなどに取り組み、地場企業の魅力向上を支援します。

デジタルアートの島

若者の地元定着に向け雇用の場の創出を図るため、ゲーム・アニメ・CG映像等のデジタルコンテンツ産業の地場

テーマ06/ こどもをまんなか 人を育むまちづくり

こどもも支援 パッケージ

市内全中学校に配置している「心の教室相談員」を小学校にも配置し、児童・生徒一人ひとりの声を受け止めることができるよう相談体制の充実を図るとともに、現在、「カワセミ学級」として複合施設ここらすに設置している教育支援センターを牛深地区にも増設し、個に応じた居場所を

産業化を目指し、天草発信のゲーム開発に向けた支援や、デジタルアート展の開催などに新たに取り組めます。また、令和8年度は天草工業高校情報技術科へのCG系列導入から3年目を迎えます。同校との連携を図りながら、卒業する3年生の進学や市内での就職をサポートし、デジタルアートの島創造事業の進化を目指して取り組みを進めます。

くりを進めます。

併せて、虐待や貧困などの複雑な家庭課題に対し、専門家チームが適切なアセスメントを行い、特に対応が必要な家庭やこどもへの個別支援を実施する「児童育成支援拠点」を新たに設置します。さらに、地域で家庭を見守る子ども食堂への支援や子どもデイサービスなどの充実により、こどもや子育て家庭と地域との接点、地域での見守り体制を維

教育環境

中学校の休日部活動の地域展開を進め、児童・生徒の多様な活動機会の確保と専門的な指導の実現、教職員の長時間労働の解消を図るほか、小学校の給食費無償化を実施し、子育てにかかる保護者の負担軽減を図ります。

生涯学習など

地域学校協働活動推進員や各種団体と連携して、体験・交流活動の機会を創出し、こどもたちの生きる力を育む「体験学習の島づくり」を推進します。さらに、地域との協働による高校魅力化の取り組みなどにより、こどもから大人まで笑顔あふれる社会を共創できるよう、地域と一体となった子育て・教育環境の充実を推進します。



テーマ07/ 政策を実現する 行政経営のまちづくり

天草版地方創生

令和7年度に設置した「天草版地方創生推進本部」を中心に、地域の行政拠点である支所と、政策の舵取りを担う本庁の連携を強化し、交通政策や医療・福祉体制の充実、社会基盤の整備や産業・人材の育成など、広大な本市に適した効果的な事業の実施に努めます。

また、地域おこし協力隊インターン制度を活用した牛深ライフ遊学の取り組みや、スポーツ資源を生かした新和地域の活性化などの事業を引き続き推進します。御所浦地域では、熊本県の二地域居住促進実証事業を活用してさらなる関係人口の拡大を目指すなど、市内周辺地域の活性化に向けた取り組みを積極的に進めます。

さらに、各支所や新たに配置する集落支援員を中心に、住民との協働により各地の課



行政経営

新たに「第3次天草市行政経営改革大綱」を策定し、PDCAサイクルの徹底による施策の質の向上や、「書かないワンストップ窓口」の導入

など、デジタル化の推進による行政サービスの利便性向上と業務の効率化に取り組みます。また、お礼品の充実によるふるさと納税の増大や、市長自らのトップセールスによる企業版ふるさと納税の獲得、有利な国・県補助金と地方債の活用など歳入の確保に努めるとともに、行財政改革の取り組みと連動した歳入の見直し、公共施設の統廃合や売却を進めます。併せて、職員研修の充実や職場でのコミュニケーションの活性化を図り、政策を実現するための財政基盤、組織力・職員力の強化に不断の努力で取り組みます。

